

森町人口ビジョン及び まち・ひと・しごと創生総合戦略

【概要版】



平成 27 年 10 月

森 町

はじめに

◆ 背景・目的

我が国において、人口減少や少子高齢化が急速に進む中、地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的として、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。

この法律において、市町村は地域の実情に応じ、まち・ひと・しごと創生に関する施策の基本的な計画を定めるよう、努めなければならないこととされました。

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、本町の人口減少は、このままでは将来的にも継続していき、深刻な生産年齢人口の減少、少子化・超高齢化が進むと見込まれています。

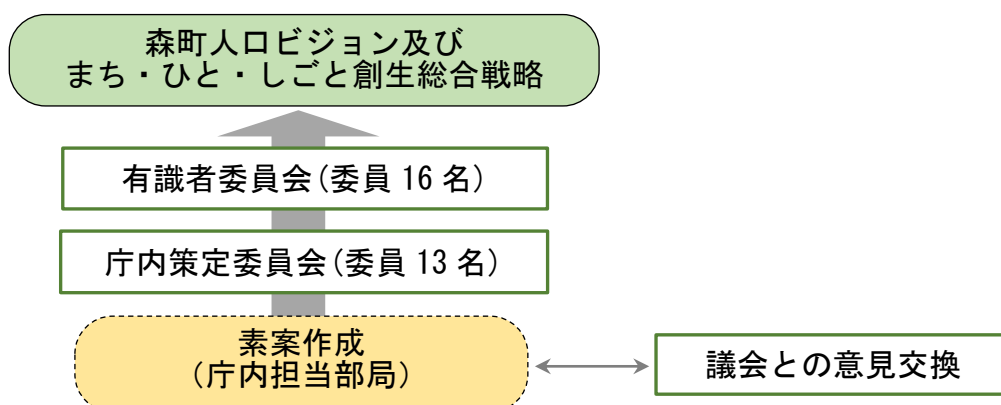
このような、人口急減・超高齢化という直面する大きな課題に対し、政府が一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生できるよう、まち・ひと・しごと創生本部を設置し、平成26年12月に「長期ビジョン」及び「総合戦略」を策定しました。

また、静岡県においては、国の取組を踏まえ、美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生「長期人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定しています。

こうした状況に対応し、本町においても、町民の年齢構成バランスを適正に維持し、今後とも不安のない、安定した「暮らし」を守るとともに、活力があり自立したまちを維持していく必要があることから、国や静岡県が示す方向性を踏まえるとともに、総合計画をはじめとする町の各個別計画との整合に留意して、「森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

◆ 策定にあたって

森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたっては、「産官学金労言」の各分野からの意見等をふまえる必要があることから、行政内部の策定組織とともに、「有識者委員会」の設置と議会との意見交換を実施し策定しています。



■ 人口ビジョン

人口減少を克服し、活力ある森町を今後も維持するため、本町が目指す将来の方向性を定めます。

◆ 目指すべき将来の方向性

◆結婚・出産・子育て◆

- ・若年世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、人口減少に歯止めをかける。

◆町内定住◆

- ・家族形成期世帯の定住、一時転出層の呼び戻し、外部からの流入を促す。

◆地域経済の活性化◆

- ・産業の振興と地域内での安定的な雇用の確保や、地域資源を活かした新たなにぎわいを創出する。

◆生活環境の整備◆

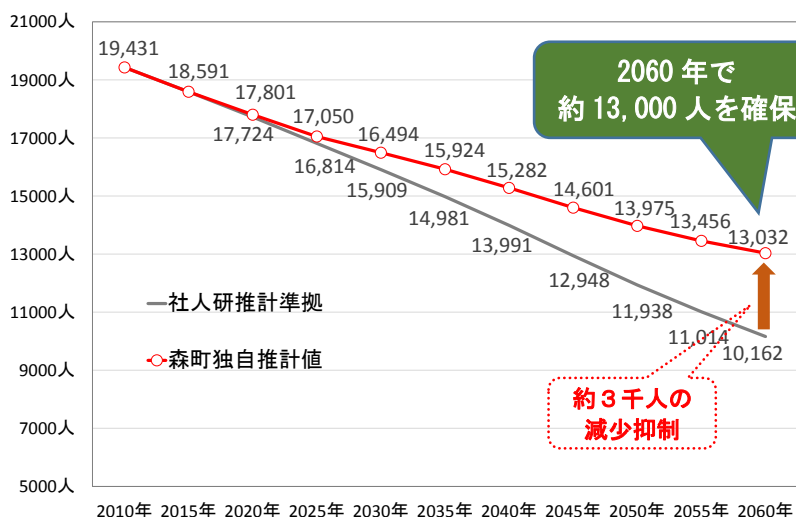
- ・町民だれもが安全・安心に暮らせる生活環境を維持、整備する。

◆ 人口の将来展望

○将来的な人口減少を緩やかにするため、2060年（45年後）に13,000人を確保

◎出生率向上
（合計特殊出生率）
2030年までに2.07
を実現、2030年以降
も維持

◎社会移動抑制
2030年以降の社会
移動（転出入数）を
均衡とする。



まち・ひと・しごと創生総合戦略

本町の人口減少の克服と地域の自立かつ持続的な活性化に向けた現状と課題、めざす姿、そして今後の5年間の基本的な取組方向、項目を示します。

◆ 基本的な考え方

人口ビジョンで示した「2060年に13,000人を確保」することを目指し、また、将来にわたって、「人が生き・人とふれあい・“^{もりまち}森”に暮らす」ことができる町であるよう、出生率の向上や社会移動の改善を図るために、今後5年間で重点的に取り組むべき施策・事業を位置づけます。

◆ 施策・事業の実施にあたっての留意点

- 人口ビジョンの将来展望を実現するために「出生率向上」と「社会移動の改善」が期待できる取組効果の高い具体的な事業を選別、重点的に実施。
- 施策・事業は、施策対象（ターゲット）を絞り込み、事業効果の見込みを明らかにするなど、戦略性をもった取組として実施。
- 総合戦略に位置づける施策・事業は、計画的な実施と進行管理を行うことを基本とし、町の財政状況との整合性、事業実施の効果・検証を図りつつ、実効性の高い現実的な取組として実施。
- 健全な財政運営、歳入の確保に努め、経済効果を高める視点で事業を実施。

◆ 総合戦略（計画）の進行管理にあたって

人口減少の克服は、中長期的な取組であるとともに、不断の見直しと、施策の改善を重ねていく必要があります。本総合戦略の推進にあたっては、基本目標や重要事業評価指標（K P I）、施策の進捗、効果等について、毎年度の有識者委員会による評価を実施するとともに、町民の皆様からのご意見等も参考にしながら、PDCAサイクルに基づく、継続的な改善を図ることにより、地方創生の実現を目指していきます。

※基本目標における数値目標：総合戦略に位置づける政策分野ごとの、5年後の基本目標を設定し、その達成度をはかるための数値目標

※KPI（Key Performance Indicator）：具体的な施策の進捗（効果）状況を検証するために設定する数値目標

＜基本指標と重要業績評価指標（ＫＰＩ）＞

基本目標１ 「ひと」を育む		基準値	目標値（H31）
基本指標	出生数	129 人	150 人
主なＫＰＩ	待機児童ゼロの継続	０人	０人

基本目標２ 「魅力」と「交流」をつくる		基準値	目標値（H31）
基本指標	年間観光入込客数	110 万人	120 万人
主なＫＰＩ	新東名 IC(遠州森町 SIC 及び森掛川 IC)通行量	3,649 台/日	5,000 台/日

基本目標３ 「しごと」をつくる		基準値	目標値（H31）
基本指標	町内事業所従業員数	7,000 人	8,000 人
主なＫＰＩ	新規企業立地件数	０件	３件

基本目標４ 「安心」をつくる		基準値	目標値（H31）
基本指標	健康高齢者数	4,700 人	5,000 人
主なＫＰＩ	お達者度 県内１位の継続	県内１位	県内１位

＜戦略の推進に向けて＞

◆ 計画のフォローアップ・進行管理

目標年度までの毎年度において、ＰＤＣＡサイクルによる進行管理を行います。

次期森町総合計画との一体的な推進、静岡県総合戦略等との整合性、広域的な連携等の観点も考慮し、また、国の「地域経済分析システム」による詳細な分析や、新たな国勢調査の結果なども踏まえ、随時見直しを図っていきます。

◆ 多様な主体と連携・協働

町民や事業者等をはじめ、戦略策定段階から重視してきた産官学金労言の地域一丸となった総合的な取組を今後も重視し、森町に関わる様々な主体との連携・協働を継続していきます。

◆ 財源の確保

本戦略に位置づけた施策・事業の推進にあたっては、地方創生先行型交付金をはじめ、国の支援制度を積極的に活用していくとともに、本町の総合計画に基づき、的確に予算措置を図っていくものとします。

<森町まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像>

森町人口ビジョン 【2060年に13,000人を確保する】

◎出生率を高める

合計特殊出生率 2030年までに2.07を実現、以降もこれを維持

◎社会移動を抑制する

2030年以降の社会移動（転出入数）を均衡

森町まち・ひと・しごと創生総合戦略

「人が活き・人とふれあい・“森”に暮らす」

森町の創生に向けて

- ◎町で若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しめるまちをつくる
- ◎町の魅力を高め多様な交流が生まれるにぎわいにあふれたまちをつくる
- ◎町内外に雇用の場があり、誰もがいきがいを感ずることが出来るまちをつくる
- ◎町に誇りや愛着を感じながら、いつまでも安心して暮らせるまちをつくる

総合戦略の方向

【基本目標1】

『ひと』を育む

【基本目標2】

『魅力』と『交流』
をつくる

【基本目標3】

『しごと』をつくる

【基本目標4】

『安心』をつくる

基本目標1 『ひと』を育む ～“森”に学び育つ～

●基本指標

◎出生数 129人→150人（H31）

●基本施策と事業の展開方向

(1) 子育て支援の充実	①子育て支援体制の充実	こども医療費助成事業、子育て支援センター運営事業の充実、子育て（多子）世帯の経済的負担軽減
	②保育・託児環境の充実	多様な保育サービスの充実、妊娠・出産のための健康づくりと正しい知識の普及、待機児童ゼロ対策事業、ファミリーサポートセンターの利用促進
(2) 若い世代の結婚・出産に対する意欲喚起	①結婚相談・婚活支援	希望どおり結婚して家庭を築き子育てができる環境整備 結婚相談態勢の充実、イベントの充実
	②若年者への結婚・出産の啓発	各種講座・セミナー・イベントの開催 子育てや家事などのアドバイザー育成
(3) 子どもを守り・育む環境づくり	①家庭・地域による子育て支援	国や県と連携した子育てが社会的に評価される仕組み構築
	②ワークライフバランスの推進	男女共同参画社会の推進、企業への子育て支援への働きかけ・協働
(4) 教育力の強化・教育レベルの向上	①教育力の強化	幼小中一貫教育推進事業、英語教育支援事業、ICT活用推進事業
	②きめ細かな教育の推進	不登校・いじめ対策事業、安心な学校給食の提供
	③特色ある教育の推進	魅力ある学校づくり、多様な学習機会の提供、家庭・地域との連携
	④地域の教育環境の充実	ふるさと教育の充実

基本目標 2 『魅力』と『交流』をつくる ～人とふれあう～

●基本指標

◎年間観光入込客数 約 110 万人→120 万人 (H31)

●基本施策と事業の展開方向

(1) 定住環境としての魅力向上	①道路交通環境の改善	公共交通政策のあり方研究
	②居住地選択等の支援	空き家の利活用方策の検討、土地区画整理地内の保留地販売促進
(2) 地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大	①イベント・交流機会の充実	遠州の小京都推進を核とした観光地づくり・周遊促進 特産品のブランドをいかした販売促進
	②観光資源の発掘・魅力向上	観光情報の発信機能の充実、町並み整備の推進 歴史的文化資産(神社仏閣)をいかした観光振興
	③新東名高速道路・富士山静岡空港をいかした国内外からの誘客とおもてなし体制の充実	外国人の観光交流の推進 民間の力をいかした宿泊及び商業施設整備の促進
(3) 広域交流圏の形成	①周辺市町と連携した産業振興	周辺市町との連携充実、広域的ネットワークの形成・推進 北海道森町児童生徒友好親善事業、国際交流活動の活発化、国際性豊かな人材育成
	②友好都市等との連携	
(4) 地域ブランドの創造・魅力向上	①地域資源の活用・魅力化	産学連携による新商品開発に向けた取組
	②特産品のブランド化・観光交流促進	田舎の良さの PR、食・農・健康と連携した観光交流推進
(5) タウンプロモーションの展開	①地域イメージの向上、魅力化	町の PV による情報発信、IT 環境整備、遠州の小京都推進事業、「よんない森町、ええら森町! プロジェクト」

基本目標 3 『しごと』をつくる ～人を活かす～

●基本指標

◎町内事業所従業員数 7,000 人→8,000 人 (H31)

●基本施策と事業の展開方向

(1) 若者・女性・高齢者などが活躍できる環境づくり	①若者・女性の活躍促進	地域おこし協力隊の受け入れ、女性の就業支援
	②高齢者の活躍の場づくり	地域での活躍の場の創出(シルバー人材センター地域活動)
(2) 働きやすさの向上	①子育て世代への就労支援	男女がともにいきいきと働くことができる職場づくりの推進
	②就労環境の向上	就労支援の充実、共稼ぎができる環境づくり
(3) 地場産業・既存産業の振興・活性化	①農林業の活性化	認定農業者等育成支援事業、6次産業化推進事業、地域ブランドの確立、急須でお茶を飲む町づくりの推進 等
	②商工業の振興	創業者支援事業、商工会等への支援、遊休農地の有効利用促進
(4) 起業創業、新産業の進出等の支援	①起業・創業の支援	若者の就業支援、金融機関と連携した中小企業向け融資制度や利子補給制度の充実 等
	②企業誘致・新産業の創出	内陸のフロンティアを拓く取組の推進、HP への企業誘致特別ページの開設、産業用地の確保 等

基本目標 4 『安心』をつくる ～“森”との共生～

●基本指標

◎健康高齢者数 約 4,700 人→5,000 人 (H31)

●基本施策と事業の展開方向

(1) 健康長寿の延伸・元気な高齢者づくり	①健康長寿の延伸	地域包括ケアの総合的な推進、地域医療及び家庭医療体制の充実、遠州森の茶を飲むまちづくり 等
	②元気な高齢者の活躍促進	ワンコイン生活支援サービス事業
(2) 移住促進	①移住・定住促進	情報発信の強化、民間企業と連携した定住環境の整備 等
	②町外就学者等の U・I・J ターン促進	大学との連携強化による若者の地元定着の促進
(3) 町民活動・地域活動の活性化	①コミュニティ活動の充実	三世代交流の推進、自主防災組織の充実 地域及びテーマによるコミュニティ活動の充実
	②協働を基礎とした行政運営	協働のまちづくり推進事業の充実 等
	③ICT 利活用推進事業	スマートタウンづくり 等
(4) 災害対策の推進	①防災資機材の充実	備蓄食料の計画的な購入・更新、可搬ポンプなどの更新
	②災害に対するための人材の育成	実践的な防災訓練
	③住宅の地震対策の推進	木造住宅の耐震化、家具の固定の推進



森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

発行：森町役場 企画財政課

〒437 - 0293 静岡県周智郡森町森 2101 番地の 1
TEL 0538-85-6305 FAX 0538-85-5259
URL :<http://www.town.morimachi.shizuoka.jp/>